

大正十一年
二月號

天 界

第二



第十五號

内 容

昨年末の異常黄道光	二一
の相對原理(三)	二一
助教授理學士 山本 一清	二一
星から星へ	二九
興國維納 J. パリーザ	二九
すばら黄道光の出現	三七
理學士 山本 一清	三七
大正十二年の太陽點觀測	三九
京都天文臺 古川 龍城	三九
私の太陽觀測について	四〇
上諏訪 三澤 勝衛	四〇
檜原氏のアルゴール觀測	四三
新刊「宇宙の旅」を讀みて(古川)	四四
紹介 宇宙の旅	四四
雜 報	四五
ヘアヴァド天文臺長新任	四五
報 リル天文臺の新裝	四五
質 疑(二件)	四五
同好會報	四六

二 月 の 天 象

太陽 四日午後十一時、立春。十九日午後五時、寶瓶宮より双鱼宮に入る。雨水節月 五日午後二時、上半月(牡羊の東) 十二日午前十時、満月(獅子の東) 十九日午前十三時、下半月(天秤の東) 二十七日午前四時、新月

水星 月初は宵の西天に、月末は曉の東天に 何れも一週間見える。水瓶座に一等の輝やき。十四日下合。

金星 太陽のあちら側を順行中。觀測不能。

火星 天秤座から蠍座へ順行。毎夜々半出現。漸次接近、月末は距離一億八千萬キロ、光度〇・五等、二十日蠍座β星と衝突。

木星 乙女座スピカ星と併立。夜半過ぎ出現。視直徑三十八秒、光度はマイナス

負一・八等。觀望の好機。十六日は月に近い。

土星 乙女座で木星より一時間早い。光りは〇・八等、望遠鏡で見れば輪も好い。木星と共に乙女座の誇りである。

天王星 水瓶座と共に漸く西に傾く。觀望不適。

海王星 矢張蟹座で星の北四日は衝で我が地球から四十三億キロ。觀望の最好機。但し光度は七等半だから肉眼では駄目。

會 告

二月例会 来る二月十九日(日)午後六時半

京都帝國大學天文臺の星學研究室に於て、例の如く開會
左の講演あり、後、ストーザを圍んで懇談を致します。

「星雲の話」 京大天文臺助手 古川 龍城氏

右

大正十一年一月二十四日

天文同好會

御 注 意

次號には本誌第一卷總目錄及索引を附録とします
本號は紙面の都合にて天文語彙は休み。

豫 告

第十七號(四)は火星歡迎號

第十九號(六)は火星紀念號

第廿一號(八)はハーシエル紀念號

誌 本

Contents of THE HEAVENS No. 15.....edited by I. Yamamoto.

Sketch of Anomalous Zodiacal Light in December Last (Frontispiece)
I. Yamamoto, Einstein's Theory of Relativity (3).....*J. Palisa*,
From Star to Star.....*I. Yamamoto*, Splendid Apparitions of Zodiacal
Light in Last December.....*R. Furukawa*, Observations of
the Sun-Spots in December, 1921.....*K. Misawa*, On My Solar
Observations.....Observations of Algol by Mr T. Kasihara.....Prof.
H. H. Turner's "Voyage in Space" translated into Japanese
(*Furukawa*).....New Director of Harvard College Observatory.....
Lille Observatory.....Letters.....Query.....Reports

Published by The Society of Astronomical Friends; Kyoto University Observatory.

天文同好會規則 (大正十年十一月十二日改正)

- 第一條 此ノ會ヲ天文同好會ト云フ
- 第二條 此ノ會ハ天文學ノ了解ヲ進メ兼ネテ同好者相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアラル
- 第三條 事務所ヲ京都市吉田町京都大學天文臺丙ニ置ク、又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク事ガアル
- 第四條 此ノ會ハ右ノ目的ヲ達スル爲メ次ノ事業ヲ行フ
 - 一、講演(例會毎月一回、大會年一回、其他臨時會)
 - 二、講習(各地ヲ隨時ニ開ク)
 - 三、雜誌圖書ノ出版(雜誌ハ月一回會員ニハ無代配布、圖書ハ隨時)
 - 四、實地觀測(第一部啓發的、甲觀望、乙見學、第二部研究的、甲流星、乙變光星、丙彗星)
- 第五條 此ノ會ノ目的ニ賛同スル者ハ誰デモ會員ニナレル
- 但シ會費トシテ毎月金貳拾錢ノ割テ、成ルベク半年分又ハ其ノ倍數ツツテ前金テ納入スルコト
- 申込ノ際ハ住所職業生年ヲ記入セラレタイ
- 第六條 特ニ一時金五拾圓以上ヲ寄附スル者ヲ名譽會員トスル
- 第七條 此ノ會ノ幹部ハ次ノ通り
 - 幹事 二名 會計 一名
 - 此ノ幹部ハ總會ヲ選舉セラレル者テ任期ハ一ケ年
- 第八條 幹部ハ總會ヲ選舉セラレル者テ任期ハ一ケ年
- 眞係一名、編輯係三名、觀測係一名、寫眞係一名

新 計 畫 新 發 刊

觀測部設置

單なる星の眺めより一步進んで研究的貢獻をなさんため、本會は觀測掛指導の下に來る十二月から

(一) 流星部 部長 中村 要氏
 (二) 變光星部 部長 山本一清氏
 の二部を置き、會員中の熱心家を募つて部員とします。部員は部費として一ヶ月金五拾錢を納める義務があります、其の代り、實際觀測上、部長の熱心な指導を受け、又必要なる印刷物品を給せられ、尙無代で

Bulletin) 不規則な配布を受けの特典があります。此のブレテンは天界の發行を待てない至急報で、必要に應じ月に幾度でも發行し、流星や變光星のみならず、彗星の發見や、遊星恒星の實際觀測や、尙其他、學界の最近消息を傳へるものであります。但し此のブレテンは全部英文でありますから、部員は其の資格として中學第三年級程度の英語を卒業したものでなければなりません。(若し觀測部員でなく、ブレテンを讀みたい人は、やはり毎月五拾錢を拂つて下さる必要があります)——希望者は往復ハガキで申込んで下さい。
 大正十年九月二十五日

天文同好會

殘部あり、前月發行のものとは同好會員に限り每號金五錢で配分す

LATEST BULLETINS PUBLISHED

- No.3. (31. Dec., 1921)
 Dates of Minima of Algol. (アルゴール星の最小光度期日)
 Splendid Apparitions of Zodiacal Light. (黃道光の偉觀)
- No.4. (3. Jan., 1922)
 Latitude Service of the Kyoto Observatory. (京都天文臺の緯度觀測)
 Maximum of R Hydrae. (海蛇座R星の最大光輝)
 UV Persei bright (ペルセウス座UV星の増光)
- No.5. (11. Jan., 1922)
 Report of Sun-spot Observations. (太陽黑點觀測報告)
- No.6. (18. Jan., 1922)
 Geminid Meteors (双子座流星觀測報告)
 A Large Fire Ball (一大火球)
- No.7. (20. Jan., 1922)
 First List of Members of Observing Section, S. A. F.
 (同好會觀測部員氏名表)

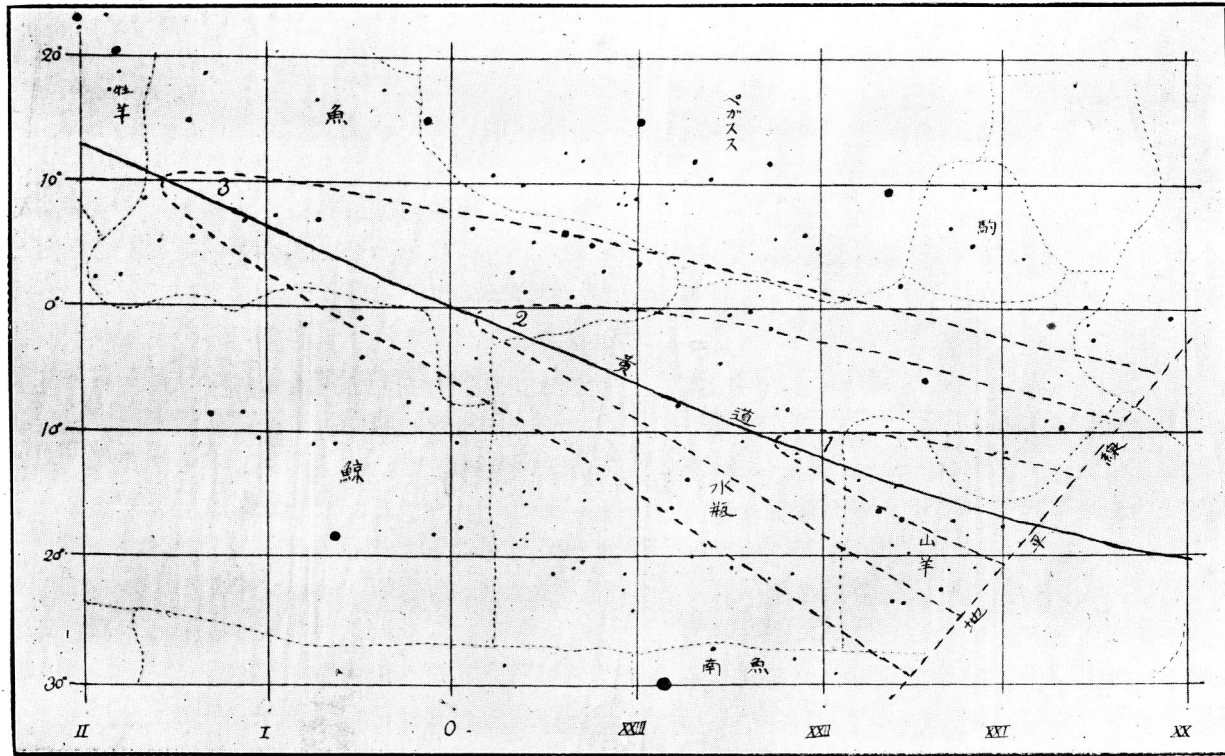
Published by the Society of Astronomical Friends, Kyoto University Observatory.

京都大學天文臺內 天文同好會發行

光道黃常異の末年昨

大正十年十二月三十日

三澤氏観測及書



(本誌第三八頁を見よ)

K. Misawa, Anomalous Zodiacal Light of Dec. 30, 1921.

編輯室より

アレンもごし／＼出る。天界の編輯部にも觀測の報告が山積される。嬉しくて仕様がな
い。専門家でも篤志家でも、天文は觀測が第
一だ。殊に我が日本の好位置を利用しなくて
吾々の使命は何所にある▲山本氏のアイン
タインは本號で完結▲こゝに載せたるバリザ老
博士の講話は感じの好い講話である。之れを
第十二號のピタリング氏の講演と讀み比べて
殊に對照が面白い。彼れは今名實共に隆々た
團將の言であり、これは又功成り名を遂げた
老將の昔語りまでも言はうか▲本號が黃道光
の觀測報告と太陽黒點の觀測とで賑はつてゐ
るのは愉快である。黃道光は誠にすばらしい
偉觀であつた。歐米の方でも盛んに電報や手
紙が飛んで大騒ぎが演ぜられたことであらう
我が日本で山本、三澤兩氏の觀測が、偶然に
も御互ひに目を違へて、補ひ合つて前後の連
絡が保たれてゐるのは面白い。▲太陽の方に
しても亦、古川三澤兩氏の同時觀測はスケツ
チを見てゐて何時までも飽きない興味があ
る。▲黃道光といひ、太陽といひ、其の他す
べての天文現象は、何時どんな不思議が現
れるかわからない。讀者諸君はどなたでも、
書物や雜誌をよみ一方に、常々、實際の天の
星々を眺めて、我れ一に新しい事件を發見し
て貰ひたい。▲發見があれば、誰からでも、
直ぐに電報で或は手紙で京都天文臺へ▲今や
本會觀測部員五十名の熱心家が、それ／＼天

の一部分づゝを分擔して、毎夜の天を「異狀
無きや否や」と眺めてゐられる。そして其の
効果はごん／＼擧りつゝある▲アレンを見
よ!!之れが吾々の生きた創作品である。▲正
月早々、鹿兒島に六時を發見した。東儀理學
士が之れを活用せらるゝ筈、萬歳!▲山本氏
の出張により、大津の藤井天文臺がいよいよ
活動をすることになった。本邦に於ける民間
の唯一の天文臺で、器械は獨逸製の六時半觀
測結果は又々天(文學)界を賑はすことであら
う。

事務室にて

事務室は無事▲但し會費が集まりにくい。

廣告

特志觀測助手募集 今回、毎週大津の藤
井天文臺に出張觀測をすることになつたので
助手を一入募る。會員の内でも外でも。但し
無給。たゞ日夜觀測を共にすることによつて
天文學の實際について得るところは多からう
と信ずる。希望者は左記へ、學歷書を添えて
申込まれたし(但し中學卒業程度たるを要
す。)

京都大學天文臺

助教授 山本一清

大正十一年一月廿四日 印刷
大正十一年一月廿五日 發行

天界第十四號 (定價金貳拾五錢)
(郵税金五厘)

京都帝國大學天文臺内

編輯兼 發行所 天文同好會

振替貯金大阪五六七六番

右代表者

山本一清

印刷者 横田秀三

京都市柳馬場通二條南入

印刷所 合資 京都市日出新聞社

丸善株式會社

東京京都・大阪・福岡・仙臺

賣捌所

岩波書店

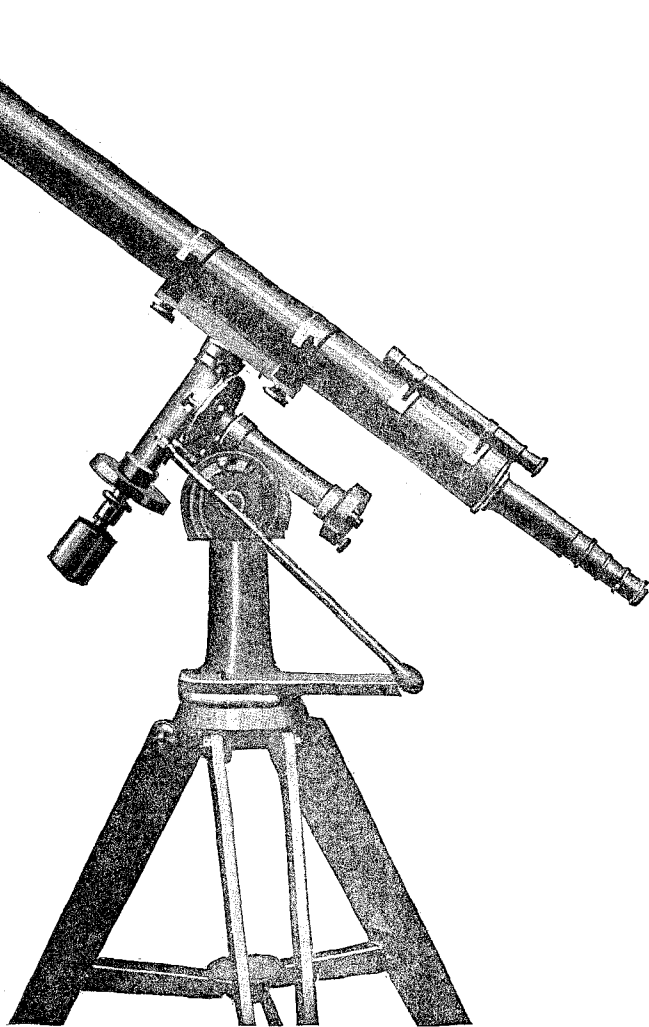
東京市神田區南神町一六

W. OTTWAY & CO. LTD.

ORION WORKS,

EALING, LONDON, W. 5.

望遠鏡の價は今や戰前に比し十割の暴騰をなせり、
之れ一般同好者の堪ふる所に非ず、本社は此の欠陥を



補はんがために特別廉價と大勉強を以つて、廣く江湖
の需要に應じつゝあり。(目錄無代進呈)

英 國 倫 敦

オットウエー社会

Manufacturers